

「英語第Ⅲ(A群)」講座番号一覧表

※A群・B群で同じ担当者をWebエントリーすることはできません。

(担当者名の50音順で掲載)

講座番号	科目名	担当者	曜日時限
101	英語第Ⅲ	穂元 美咲	月4
102	英語第Ⅲ	穂元 美咲	月5
103	英語第Ⅲ	足立 公平	水4
104	英語第Ⅲ	足立 公平	水5
105	英語第Ⅲ	石塚 政行	火2
106	英語第Ⅲ	石塚 政行	火3
107	英語第Ⅲ	井上 和樹	火2
108	英語第Ⅲ	井上 和樹	火3
109	英語第Ⅲ	及川 一美	火4
110	英語第Ⅲ	及川 一美	火5
111	英語第Ⅲ	狩野 みき	水3
112	英語第Ⅲ	叶澤 恵	水4
113	英語第Ⅲ	叶澤 恵	水5
114	英語第Ⅲ	佐藤 元状	月4
115	英語第Ⅲ	篠原 俊吾	月1
116	英語第Ⅲ	篠原 俊吾	月3
117	英語第Ⅲ	篠原 俊吾	火1
118	英語第Ⅲ	シーバース, ピーター J.	火2
119	英語第Ⅲ	シーバース, ピーター J.	火3
120	英語第Ⅲ	シーバース, ピーター J.	水3
121	英語第Ⅲ	柴田 恭子	火3
122	英語第Ⅲ	柴田 恭子	火4
123	英語第Ⅲ	デル・ベッキオ, アンソニー	水4
124	英語第Ⅲ	デル・ベッキオ, アンソニー	水5
125	英語第Ⅲ	ノブオカ, メアリー	火1
126	英語第Ⅲ	ノブオカ, メアリー	火2
127	英語第Ⅲ	プラザ タロン	水3
128	英語第Ⅲ	プラザ タロン	水4
129	英語第Ⅲ	ブリュースター, デイモン	火1
130	英語第Ⅲ	ブリュースター, デイモン	火2
131	英語第Ⅲ	星 美季	火4
132	英語第Ⅲ	星 美季	火5
133	英語第Ⅲ	細野 香里	水3
134	英語第Ⅲ	細野 香里	水4
135	英語第Ⅲ	横山 千晶	月4
136	英語第Ⅲ	脇田 裕正	月1
137	英語第Ⅲ	脇田 裕正	月4

英語 講義要綱(2年生)

英語第Ⅲ(A群)

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

自分の言葉で説明して読解力を鍛えよう[C]

春学期・秋学期：月4/月5

権元 美咲

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業では読解力を鍛えることが最大の目的です。きちんと英文と向き合い、内容を正確に把握する力は情報を入手する際の重要な手段です。その力を鍛えるため、本授業では「自分の言葉で説明する」ことに重点を置き、テキストの読解を進めます。自らが得た情報を他者に説明することを通して読解のトレーニングを行います。具体的には、テキストの指摘された範囲を読み込み、授業当日にプレゼンテーションをしてもらいます。そのプレゼンテーションに基づき、テキストの内容についてディスカッションを行います。読む・説明する・考えることを通して、単に書いてある内容を追うだけに留まらず、自ら関連する情報を収集し、話の流れをつかみ、さらに問題提起することのできる読解力の取得を目指します。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(出席状況・授業参加度・毎回のリアクションペーパーなど) 30%

プレゼンテーション 35%

学期末試験 35%

*遅刻3回で欠席1回とみなします。5回以上の欠席で自動的に単位が認定されません。

テキスト(教科書):

Sakamoto, Nancy. & Sakamoto Shiyo. (2009). *Polite Fictions in Collision*. Kinseido. ISBN:978-4-7647-3778-5

Holmes, Janet.(2004). *Women, Men and Politeness*. edited with notes by Watanabe, Kazuyuki. Eihosha. ISBN:978-4-269-14027-1

担当教員から履修者へのコメント:

・初回の授業には必ず出席してください。グループ作りやテキストの範囲指定を行います。なお、履修者の人数によっては、授業形式を変更する場合がありますので予めご了承ください。

・指摘されたテキストを読解する時間をしっかりと確保できる学生さんをお待ちしています。

・本授業では「言語」に関連するテキストを使用する予定です。このようなテーマに関心のある学生さんを歓迎します。

質問・相談:

授業前後および、メールにてお受けします。メールアドレスは初回の授業でお知らせいたします。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

リスニング・リーディングのトレーニング[C]

春学期・秋学期：水4/水5

足立 公平

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

*ウォームアップ

毎回授業の始めに英語学習者が間違え易いポイント、ジョーク、名言などでウォームアップします。

*リスニング

春学期は、前半で基礎的な音のルールを復習した後、短い文章(150語程度)を題材にリスニングの基礎的訓練を行ないます。秋学期の前半は、引き続き短い文章を題材に、後半では、英語ニュース(CNN)を利用し、設問、ディクテーションを通して普通の速さの英語に慣れる訓練を行ないます。

*リーディング

学生の皆さんが興味を持って読めるであろう題材を扱ったものを精読します。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

*試験の結果(約70%)

*出席状況および授業態度による評価(約30%)

(授業中及び授業外で与えられた課題をこなしていない場合には出席点を減点します)

テキスト(教科書):

使用しません。毎回こちらで資料を用意します。

参考書:

『英語リスニングのコツ』(ジオス編集部、ジオス、2000年、1,900円)

『英語を聞き取るリスニングのコツ』(リサ・ヴォート、ノヴァ、1999年、1,600円)

『実践ビジネス英語』(NHK出版、400円)

『CNN English Express』(朝日出版社、1440円)

担当教員から履修者へのコメント:

語学力の向上は、授業の中だけでは望めません。授業外でも積極的に英語に接する機会を作ってください。

質問・相談:

質問・相談は授業終了後に受けます。または次のアドレスまで。

adac@grace.ocn.ne.jp

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

言語の違いは思考に影響をおよぼすのか[C][P]

春学期・秋学期：火2/火3

石塚 政行

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

言語が知覚・記憶・思考などにおよぼす影響について、色彩語、空間参照枠、名詞の性などの観点から考えます。

虹の色の数え方が言語によって違うことはよく知られています。たとえば、ソロモン諸島で話されているペローナ語では、虹の色は赤・白・黒の3色です。日本語とペローナ語は世界を異なる仕方で見分けているのです。

それでは、言語が違えば世界は違って見えるのでしょうか。ペローナ語の話者には、緑や青は見えないのでしょうか。この授業では、言語と思考の関係を様々な切り口から紹介した教科書 *Through the Language Glass* を用いて、この問題について考察します。

教科書を読み進めるに当たって、各章の難単語について訳語のリストを配布するので活用してください。春学期の第1回と第2回の授業では教員が教科書の説明をします。第3回以降は、グループごとに教科書の指定箇所の内容をクラス全体に向かって説明してもらいます。発表の評価は、内容を正確に理解し、わかりやすく説明できているかどうかによって判断します。くわえて、事実・議論に関する疑問点など、自分たちなりのポイントを盛り込んだ発表も高く評価します。

授業の最初に復習確認の小テストを毎週行います。前回の学習範囲を正確に理解できているかどうかを問います。どこを聞かれても説明できるようにしっかり復習してください。予習の段階で疑問点を書き出し、それをもとに授業中に発表者に質問することをおすすめします。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

毎週の復習テスト(60点)

グループ発表(30点)

積極的授業参加(発表者への質問など)(10点)

以上100点満点

テキスト(教科書):

Deutscher, Guy. (2011). *Through the Language Glass: Why The World Looks Different In Other Languages*. Arrow. ISBN 978-0-09-950557-0

担当教員から履修者へのコメント:

英語で書かれた教科書を週に7~10ページ程度読むことが要求されることに注意して、履修するべきかどうかを検討してください。

履修を決めた学生は、必ず初回授業時に教科書を持参してください。生協書籍部で購入可能です。

質問・相談:

初回授業時にメールアドレスを知らせます。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

英詩で英語を学ぶ [C] [P]

春学期・秋学期: 火2/火3

井上 和樹

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業では、英語で書かれた詩に触れながら、英語を総合的に学んでいきます。詩、それも英詩に苦手意識があるという方は少なくないかと思いますが、英詩を通じて英語の文法を改めて考え、英詩のリズムや音を学ぶことで言葉に対する感性を磨き、英語で書かれた詩の批評を読むことで英語でのクリティカルな思考法などを学ぶことができます。この授業では、ペア/グループワーク、ディスカッション、ワークショップなどを普段の授業に取り入れながら英語での批評能力となるベースを鍛え、学期の最後にある英語でのプレゼンテーションで英語の表現力を見ます。そして、エッセイの提出により、総合的な英語の能力の発展を見ます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

春、秋学期共通

I. 出席、授業参加、コメントペーパー: 20%

II. 発表: 30%

III. エッセイ 50%

テキスト(教科書):

プリントをこちらで準備します。受講者の興味に合わせて、場合によっては読む詩のテキストを変えることもできると思うので、その際にご相談ください。

参考書:

適宜授業で紹介いたします。

担当教員から履修者へのコメント:

英語はツールとしてのプラクティカルな面が強調されがちな今日このごろですが、英語で英語の詩を読むと、日本語ではうまく表現できない、英語でしか味わうことのできない感情や世界を知ることができます。こうした体験もみなさんと共有できたら素晴らしいと思っています。

質問・相談:

質問と相談は授業後か、授業時に紹介するメールアドレスをお願いします。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

アメリカ大統領選報道と映画を使ってリスニング力を上げる[C]

春学期・秋学期: 火4/火5

及川 一美

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

英語の映画・ニュースを80%聞き取り、文化的背景を理解し気持ちを英語で伝えることを目標とします。「ノッティング・ヒルの恋人」という映画を基にした総合教材、アメリカ大統領選のニュースそしてTED talksを使って主に聴解を学びます。授業ではDictation、語彙力のテスト、会話練習などをします。予習・復習を含めて語彙を学ぶのに1.5時間の自宅学習時間が必要です。授業は日本語で行います。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

1. ディクテーションプリント提出・会話練習・単語のミニテストなどの授業参加度(20%)

2. 教科書の語彙・表現と応用問題などの英語表現を問う期末試験(80%)

3回以上の欠席は評価に大きく影響します。事情がある時は個人的に教えてください。

Final Grades are according to the following equivalents:

S=97% or more, A=96-85%, B=84-70%, C=69-60%, D= below 60%

テキスト(教科書):

映画総合教材『ノッティング・ヒルの恋人』新装版 Richard Curtis 著 神谷久美子、KimR.Kanel編著、松柏社 2100円(税別) ISBN: 978-4-88198-590-8

担当教員から履修者へのコメント:

- ① 予習・復習は毎回最低1.5時間が望ましい。
- ② 試験のために覚える単語・表現の数は多い。
- ③ 授業中配布した電子ファイルはUSBなどに保存し著作権に留意し適宜廃棄する。
- ④ 授業中配布したプリントは学期中保存しておく。

授業中の演習が中心となりますので2回以上の欠席は減点対象となります。また誠実な学習態度が求められますので、dictation, mini-testも含め不正行為、携帯電話・インターネットの授業目的外使用は評価に重大な影響を与えます。

やむを得ない事情で欠席・遅刻する場合はエビデンスを添え個人的に申し出てください。

質問・相談:

講義の前後に質問や相談を受け付けます。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

意見力 [P]

春学期・秋学期: 水3

狩野 みき

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

いくら発音がうまくても、文法や語彙力があっても、英語で、英語らしいコミュニケーションをとるためには、「意見力」がなくてはダメです。意見力とは、自分できちんと考え、自分の意見をきちんと発信し、他の人と議論することで自分や他人の意見をさらなる高みに引き上げる力のことです。この授業では、グローバル時代に必須な「意見力」を徹底的に磨きます。

授業では、まずは日本語で意見力を徹底的に身につけ、徐々に英語での発信へと移行していきます。意見力の進化形ともいえるプレゼンについても、実践的に指導します。100%実践型演習授業ですから、毎回必ず「発信」する心づもりのある学生のみ、受講してください。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(いかに意見を考え、発信できるか) ---80%

期末課題---20%

テキスト(教科書):

なし

参考書:

『世界のエリートが学んできた「自分で考える力」の授業』 狩野みき著 日本実業出版社 2013年 ISBN: 978-4-534-05090-8

『アメリカの大学生が学んでいる「伝え方」の教科書』 スティーブン E. ルーカス著 狩野みき監訳 SBクリエイティブ 2016年

ISBN: 978-4797383423

担当教員から履修者へのコメント:

考えること、意見を持つということ、議論すること、日本語と英語との文化の違いなどに興味のある学生のみ、受講してください。高校までに学んだ英文法がきちんと頭に入っていることが、必須条件です。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

社会問題を英語で考える [C][P]

春学期・秋学期：水4

叶澤 恵

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

①授業の前半は、現代社会における様々なトピックを取り上げる。テキスト、プリントを通じて語彙力、読解力、聴解力を伸ばしながら、オピニオンの分析と効果的な表現の方法を学ぶ。

②授業の後半は、受講者に、各自関心のある社会問題を取り上げ、前期、後期1回ずつ英語によるプレゼンテーションを行ってもらおう。その後、各トピックについてグループでディスカッションを行い、英語でオピニオンを表現する練習を積む。後期はディベートも行い、スピーキングに対する自信をつけていく。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

成績は、平常点(出席、プレゼンテーション、後期はディベートも含める、グループディスカッション)と、中間試験、期末試験を総合して評価する。

テキスト(教科書):

Ichizo Ueda, Toshiki Ueda, Chiaki Taoka, Akiko Nakasaka, Sachi Kashimoto *Take a Stance --Discussing Today's Controversial Issues 2*. Cengage. 2018. ISBN:978-4-86312-335-5

担当教員から履修者へのコメント:

毎回の授業への積極的な参加を重視するので、社会問題に関心のある、意欲のある学生に受講してほしい。初回授業時にプレゼンテーションの順番と、ディスカッションのグループを決めるので、必ず出席すること。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

TOEICのトレーニング [C]

春学期・秋学期：水5

叶澤 恵

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

①2016年5月からの新形式のTOEIC問題に対応したテキストやプリントを使用し、演習を通じて、TOEICの攻略法を学ぶ。リスニング、リーディングの両セクション共に、TOEICの問題形式と出題傾向を把握し、スコア・アップを目指す。

②TOEICの問題は、実用的な英語表現を使いこなす力を要求するため、ニュース、新聞、インターネットなどを駆使して、様々な英語に慣れ親しむ。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

成績は、出席、平常点、小テスト、期末試験(授業内容に加えて、TOEICの実力問題を含む)を総合して評価する。

テキスト(教科書):

Fast Pass for the TOEIC L&R Test, Revised Edition, Ritsuko Uenaka and Seiko Korechika著, Cengage Learning, 2019.

ISBN: 978-4-86312-350-2

担当教員から履修者へのコメント:

毎回の授業へ積極的な参加を重視する。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

映画ワークショップで学ぶ<英語>『つぐない』編 [C][P]

春学期・秋学期：月4

佐藤 元状

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業では、映画ワークショップを通じて、リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングを総合的に学習していきます。カジュアルな雰囲気の中で、映画のスク립トを読んだり、映画の会話を聴いたり、書いたり、話したりしているうちに、自信を持って英語を読み、聴き、書き、話すことができるようにしていきます。ワークショップの性格上、とりわけスピーキング能力の向上が目覚ましいです。

今年はジョー・ライト監督の『つぐない』を題材として、ワークショップを行います。グループ・ワークによって、英語のスピーキ

ングの基本的な学習を進めていき、学期末には各グループで映画のスク립トを自由に改作していただき、それを英語で演じていただきます。学期末の発表会は、英語を自分の言葉として発することの喜びを確認する貴重な時間になるはずで。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

成績は、出席、平常点、ショートテスト、英語での上演を総合的に評価します。配点の目安は、出席と平常点で25%、ショートテストで25%、英語での上演で50%です。

テキスト(教科書):

適宜プリントをこちらで準備します。

参考書:

1) McEwan, Ian. (2002). *Atonement*. Vintage. ISBN-13: 978-0099429791 : 映画の原作です。授業でも一部扱います。

2) Hampton, Christopher. (2007). *Atonement: The Shooting Script*. New Market Press. ISBN-13: 978-1557047991 : 映画のスク립トです。

3) 『贖罪』(上・下) イアン・マキューアン著 新潮文庫 2008年: 原作の翻訳です。入手しておいてください。

担当教員から履修者へのコメント:

ワークショップ形式の授業ですので、毎回の参加が前提となります。英語に自信がない人の参加は心から歓迎しますが、授業に積極的に参加していただくことが条件です。

質問・相談:

質問と相談は授業後に受け付けます。メールアドレスは、motsato@a7.keio.jpです。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

運用能力の向上をめざす [C][P]

春学期・秋学期：月1/月3/火1

篠原 俊吾

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

*1年時担当教員の開講する授業を履修した者、または本年度担当教員の開講する授業を履修する者はこの授業は履修することはできない。

瞬間英作文、音読の訓練を通して今まで学習してきた英語の知識を定着させ、運用能力の向上をめざす授業です。最終的に各自が設定したトピックに関する短いスピーチを正しい発音、リズムで行えるようになることを目標とします。春学期は、さまざまなジャンルの音声教材を用いながら、発音できる単位をセットフレーズ、短い文と徐々に長くして暗唱を試み、クイックレスポンスできるように訓練します(毎回、確認テストがあります)。その後、400ワード程度の音声教材の音読を毎週行い、英語のリズムをしっかり身に付けていきます。その他の条件を以下に列挙します。

1) 【重要】 毎週提供される課題 (CDの音声を聴いて、同じように発音できるようにする) を各自、

自宅ですべて練習してくることを前提とします。こつこつ毎日訓練することが期待されています。

2) 【注意】 この授業は、音読「初心者」、つまり、300語程度の文章を読むのに困難を感じる人を

前提としています。英検準1級程度以上の文章を問題なくスラスラと読むことのできるにもか

かわらず(すなわち、レベルがあわないことを承知で) 受講をした場合は「単位を出しません」のでご注意ください。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点60% (毎回の暗唱チェック、小テストを含む)

プレゼンテーション30%

出席10%

テキスト(教科書):

教室で指示します。

担当教員から履修者へのコメント:

【注意】

1. 内容は平易ですが、毎回課題があり、履修者には継続と反復することが求められています。しつ

- かりトレーニングのできる環境にある方を歓迎します。
2. 継続できない人は単位を落とす可能性が十分にあります。
 3. 音読、リスニングがあまり得意でない人を対象としています。授業内容は、資格を持っていない方、英語が得意でない方から英検2級程度の方に合うように設定しあります。英検準1級もしくはそれ以上のレベルの方は、受講をお断りする場合もあります。履修の際には十分注意してください。

英語第Ⅲ 1 単位(春学期)

英語第Ⅲ 1 単位(秋学期)

Improving English by Studying the European Union[C][P]
春学期・秋学期：火2/火3/水3

シーバース, ピーター J.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The aim of this course is to achieve a better understanding of the European Union and of the individual nations within the EU while, at the same time, improving our overall English ability.

The focus of the first semester will be on general information (geography, economics, politics, culture, sports, etc.) on a chosen number of EU member states. During the second semester, we will first examine the different institutions that control and govern the Union together with a number of current issues. Then, finally, we will take a close look at a number of different national social systems within the twenty-eight-nation block. Throughout the year, students will be expected to keep informed on current issues and events that relate to this region of the world.

In groups of three or four, students will research the different aspects of their designated country (or topic) and will present this information to the class. The presenters should direct their information at fellow students (not at the teacher) and should consider themselves to be teachers. Also, at the end of their presentation, they must give a short quiz to the class based upon what they have taught.

There will be a mid-term and final written examination in each semester. Homework will not only include preparation for one's presentation but also a review of the notes taken in the previous class.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Grading will be based on the quality of the presentation (40%), and on the written tests (30% each; 30x2=60%). Participation in the group discussions will be used to adjust grades up or down. The tests will be based on the information given in the presentations and on anything that the instructor might add. 4% will be deducted for each class missed, and students should also be aware that sleeping in class will be treated as an absence.

テキスト(教科書):

No text is required. Sufficient material can be found in the library and on the Internet. The instructor will provide written and audiovisual material on occasion.

参考書:

Any dictionary of political science.

担当教員から履修者へのコメント:

Regular on-time attendance, well-prepared presentations (students must use their own "spoken" English and not read aloud "written" English), good note taking, and active participation in class discussions are required of all students. All ideas and language used by students that is not their own must be properly referenced. Students should be aware that plagiarism is a very serious offense in academia.

質問・相談:

When students have questions or comments, they can contact the teacher BEFORE class.

英語第Ⅲ 1 単位(春学期)

英語第Ⅲ 1 単位(秋学期)

Polish Your English Through Films[C][P]
春学期・秋学期：火3/火4

柴田 恭子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course aims at developing the participants' English speaking skill by using film works.

The films planned for the spring semester are: *The Devil Wears Prada* (David Frankel, 2006), *The King's Speech* (Tom Hooper, 2010) and *The Reader* (Stephen Daldry, 2008), while those for the fall semester are: *Truth* (James Vanderbilt, 2015), *Freeheld* (Peter Sollett, 2015) and *This Is England* (Shane Meadows, 2006).

Following synopsis reading and vocabulary quizzes, each film's crucial scenes are screened, and the participants are asked to answer the questions posed by the lecturer. Using fragments from the script, they will practice paired reading, and in a group of 4-6 people, they will talk about the characters' personality and feelings, the social and historical backgrounds of the film, and the meanings of the film's message to contemporary Japanese society. Roles are given to the group members in rotation, and the leaders will present the important points of the discussion to the class.

At the end of the semester, each group chooses one of the 3 films and sets a relevant theme of the members' interest to prepare and conduct a 20-30 min. group presentation.

The course will be held mainly in English, while explanation in Japanese will be offered whenever necessary. By enjoying pair work and group work, the students will develop a special brain circuit for speaking and thinking in English.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

In-class activities (40%), homework submission (30%) and a final presentation (30%). When missing more than 3 classes, the student's grade will be automatically lowered.

テキスト(教科書):

There is no textbook for the course. Fragments of film scripts, worksheets and other materials will be handed out by the lecturer.

英語第Ⅲ 1 単位(春学期)

英語第Ⅲ 1 単位(秋学期)

Global Challenges for the 21st Century [C][P]
春学期・秋学期：水4/水5

デル・ベッキオ, アンソニー

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course will look at contemporary issues facing humankind in the 21st Century. The modern world is at a crossroads and solving significant problems facing the international community -- such as halting global warming and environmental devastation, stemming nuclear proliferation, and developing alternative energy sources -- should be of particular interest to all university-age students.

The primary focus of the course will be on the global content, with various linguistic skills taught to improve meaningful communication. Students enrolled in the course will be engaged in a wide range of activities covering the four skill areas -- listening, reading, speaking, and writing. Specific activities will include documentary film viewing and analysis, intensive reading, in-class debates and presentations, and expository writing, with help from the teacher as to how to accomplish these activities effectively. Through the class website, students will be assigned background reading and research activities to increase their knowledge and confidence about the topics and to provide a solid basis for class work. The website will also be used for students' comments and opinions about the topic and to provide a means of ongoing communication between the students and the teacher.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Final grading will be determined as follows:

- Attendance - 10%
- Participation - 20%
- Homework - 30%
- Tests, Quizzes, and Presentations - 40%

テキスト(教科書):

No textbook is required for this course. All necessary materials can be found at the course website: <http://keioglobalchallenges.wordpress.com/>

参考書:

- Dictionaries (preferably electronic)
- Smart phones and/or PCs with Internet access are required.

担当教員から履修者へのコメント:

Class rules/requirements:

- 1) Students must attend class regularly.

You may be officially excused from an absence for the following reasons:

- Officially approved illnesses (学校感染症)
- Lay judge (裁判員制度)
- Bereavement leave (三親等以内の忌引き)

- 2) Students must come to class on time. Students who come to class after the roll is taken will be marked Late. Three (3) Lates = One (1) Absence. Students who come to class more than 15 minutes late will be marked as Absent for the day.

- 3) Students with three (3) unexcused absences classes will receive no higher than a grade of B for the term, regardless of other performance.

- 3) Students with four (4) unexcused absences will receive a failing grade of D for the term, regardless of other performance.

- 4) Failure to complete all course requirements, including tests and homework assignments, will result in a failing grade of D for the term, regardless of other performance.

- 5) Any student caught cheating on any test will receive an automatic mark of Zero (0) for that test, and will receive no higher than a grade of C for the term, regardless of other performance.

質問・相談:

Students may contact the instructor via email at tdv1958@yahoo.com with questions related to the course.

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

Leadership and soft skills for the 21st century[C][P]

春学期・秋学期: 火1/火2

ノブオカ, メアリー

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

In this intermediate-level course, students will build a foundation for 21st-century leadership and self-management skills: goal setting, time management, problem solving and decision-making, communication skills, thinking skills, and more. These skills will help students with their short-term academic goals as well as long-term life and career goals in a competitive job market and an economy that is becoming more dependent on automation. Student will also sharpen their public speaking and critical thinking skills. Students who are highly motivated to improve their speaking skills and life skills should enroll in this course.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Students will be evaluated on the following criteria: in-class participation & group contributions (40%), weekly quizzes (10%), an 800- to 1,000-word essay (20%); and presentation (30%).

テキスト(教科書):

There is no textbook for this class. The teacher will provide all study materials.

担当教員から履修者へのコメント:

Students who are eager to speak in English will succeed in this class. Students are expected to bring study supplies: a writing instrument, note paper/notebook, a folder, a dictionary and vocabulary cards.

質問・相談:

Students are welcomed to ask questions and receive consultation before and after class, by email or by appointment.

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

Exploring Culture [C][P]

春学期・秋学期: 水3/水4

プラザ タロン

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

In this course, students will be introduced to current ideas in cultural studies. Through weekly readings and discussions, students will gain confidence in organizing and presenting their thoughts in English. Students will also learn basic research techniques and methodologies and, with the full support of the instructor and fellow classmates, will conduct research and present their findings. Teamwork and helping one another will be emphasized in this class.

Objectives

At the end of this course, students will:

Have the knowledge and confidence to talk about current topics in cultural studies in English.

Have the tools necessary to research and present in English on a topic of their interest.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Participation (30%), Homework (15%), Presentation 1 (25%), Presentation 2 (30%)

テキスト(教科書):

Course materials will be provided in class by the instructor

担当教員から履修者へのコメント:

I look forward to working with motivated and enthusiastic students.

Regular attendance and active participation are very important in this class.

It will be necessary for students to do the reading assignments before class so that they are prepared for the in-class discussions.

This class will involve a lot of group work. Students will be expected to work with and support one another throughout the class.

質問・相談:

I will be available for questions before and after class, as well as by e-mail.

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

Discussion skills: with current news stories [C][P]

春学期・秋学期: 火1/火2

ブリュースター, デイモン

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course will encourage students to develop speaking skills. Students will be expected to research and discuss current news topics with their classmates. Students will prepare worksheets and lead a number of group discussions based on reading current news topics and write reactions to these topics and class discussions (published on a class homepage). To help improve the ability to talk about current news topics, students will be supported with discussion phrases and be given regular vocabulary tests. There will also be regular listening activities during the semester.

The focus will be on sharing opinions, discussing issues and increasing understanding of global news stories.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Contribution to class (work with classmates, attitude, English performance, effort to improve) - 20%

Worksheets & Discussions - 20%

Vocabulary tests - 20%

Final Test/Report - 15%

Online written work (posted to website) - 15%

Attendance - 10%

テキスト(教科書):

Material will be provided by the instructor and created by classmates.

参考書:

The internet (especially sites like <http://news.bbc.co.uk>)

The class will also have its own website where additional information will be posted.

担当教員から履修者へのコメント:

You are expected to be proactive and willing to talk in English. Work with your classmates well and you will be able to improve your English fluency and knowledge of news events around the world. If you have any questions during the course, email dbrewster@icloud.com

英語第Ⅲ 1 単位(春学期)

英語第Ⅲ 1 単位(秋学期)

カレントイングリッシュ[C][P]

春学期・秋学期: 火 4/火 5

星 美季

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

このクラスは英語のリスニング、リーディングとライティングの習得上のプロセスを鑑み、これら3つの技能を向上、融合させていくものです。総合的な又は今後の学業における"使える英語"を伸ばすことを目指します。積極的に学習に取り組めるよう、文化・社会・科学分野の興味深い、重要な事項についてリスニング、リーディングの演習をします。

毎回授業の前半ではBroadcast: ABC World News Tonight 2を使用しリスニングや語彙、表現を学びます。後半は教師の用意する記事やTOEFL、TOEIC等の検定問題から様々なリーディングストラテジーを練習します。これに加え秋学期からはパラグラフライティングを加え3つの技能の統合を目標にします。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

中間、期末試験の結果、および課題・出席状況による評価

テキスト(教科書):

『Broadcast: ABC World News Tonight 2』 Shigeru Yamane/Kathleen Yamane 金星堂 ISBN978-4-7647-4096-9

担当教員から履修者へのコメント:

3回以上の欠席は認めません。

英語第Ⅲ 1 単位(春学期)

英語第Ⅲ 1 単位(秋学期)

奴隷制廃止運動とは何か[C]

春学期・秋学期: 水 3

細野 香里

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業では、主に18世紀から19世紀のアメリカ合衆国における奴隷制廃止運動の歴史を扱ったテキストを教科書とし、学術的な英語を正確に読解する能力を養います。さらに毎回の精読、発表とディスカッションを通じ、基本的な研究調査手法を身に付け、情報をもとに自身の意見を構築し、他者との建設的な意見交換をすることを目指します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

1. 積極的な授業への参加、授業内課題: 20%

2. 発表: 40%

3. 期末試験: 40%

テキスト(教科書):

Newman, Richard S. *Abolitionism: A Very Short Introduction* Oxford University Press. ISBN:978-0190213220

参考書:

適宜プリント類を配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

毎回テキストの所定の範囲ごとに担当者を決め、内容についての発表をもとに授業を進めます。具体的には、内容のまとめ、注意すべき文法・英語表現等の解説、文化的・歴史的背景の解説、さらに、特に重要と思われる部分を各自選択しその試訳をしようえで、ディスカッションのための問題提起をしてもらいます。その他の履修者は、発表に対して積極的に質問やコメントをすることが求められます。

本授業を履修するうえで以下の点に留意してください。

・教科書及び事前配布された教材(もしあれば)と英語辞書はかならず持参すること。

・予習として教科書の指定範囲を読んでくること。

・出席確認後に到着した場合は遅刻とみなされる。授業開始後20分以上の遅刻および授業終了20分以前の早退は欠席とみなす。また遅刻3回で欠席1回とみなす。3回以上の欠席で最高評価の対象外とし、5回以上の欠席をした場合は成績評価の対象外とする。

質問・相談:

授業の前後に受け付けます。

英語第Ⅲ 1 単位(春学期)

英語第Ⅲ 1 単位(秋学期)

アメリカにおける移民の歴史と現在[C]

春学期・秋学期: 水 4

細野 香里

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業では、アメリカ合衆国における移民の歴史と現在を扱ったテキストを教科書とし、学術的な英語を正確に読解する能力を養います。さらに毎回の精読、発表とディスカッションを通じ、基本的な研究調査手法を身に付け、情報をもとに自身の意見を構築し、他者との建設的な意見交換をすることを目指します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

1. 積極的な授業への参加、授業内課題: 20%

2. 発表: 40%

3. 期末試験: 40%

テキスト(教科書):

Gerber, David A. *American Immigration: A Very Short Introduction* Oxford University Press. ISBN:978-0195331783

参考書:

適宜プリント類を配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

毎回テキストの所定の範囲ごとに担当者を決め、内容についての発表をもとに授業を進めます。具体的には、内容のまとめ、注意すべき文法・英語表現等の解説、文化的・歴史的背景の解説、さらに、特に重要と思われる部分を各自選択しその試訳をしようえで、ディスカッションのための問題提起をしてもらいます。その他の履修者は、発表に対して積極的に質問やコメントをすることが求められます。

本授業を履修するうえで以下の点に留意してください。

・教科書及び事前配布された教材(もしあれば)と英語辞書はかならず持参すること。

・予習として教科書の指定範囲を読んでくること。

・出席確認後に到着した場合は遅刻とみなされる。授業開始後20分以上の遅刻および授業終了20分以前の早退は欠席とみなす。また遅刻3回で欠席1回とみなす。3回以上の欠席で最高評価の対象外とし、5回以上の欠席をした場合は成績評価の対象外とする。

質問・相談:

授業の前後に受け付けます。

英語第Ⅲ 1 単位(春学期)

英語第Ⅲ 1 単位(秋学期)

未訳の短編を訳して、発表しよう[C][P]

春学期・秋学期: 月 4

横山 千晶

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

物語の解釈が一つではありません。皆さんが読まれている翻訳作品も、実は訳者の解釈がそこに色濃く反映されたものです。同時に翻訳の作業は、訳者その人の人生と経験を作品に反映させていくプロ

セスでもあります。この授業では「翻訳」という作業を身体と五感を通して行いたいと思います。

扱うものは英語の短編小説です。まだ日本語に訳されていないもの、あまり知られていない若手の作家のものを選びます。同時に皆さんが訳してみたいという未訳の短編がありましたら、それもクラスにぜひとも持ち寄ってください。

授業は徹底した精読から行いますが、それぞれの解釈をグループで話し合いながら、訳に反映させていきます。同時に出来上がった翻訳は朗読会の形式で発表します。今年は2020年12月21日(月曜日)の18時半から発表会を行いますので、それに出席できることが履修の条件となります。印刷された文字を声に出すとまた新たな解釈が生まれます。また異なる場所で読んでみるとどのように文字が生きてくるか。そんな身体的な経験も味わってみましょう。

座学のみならず身体的なワークショップを通じた授業を行います。
授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

前期・後期ともに毎回の課題、ディスカッションやワークショップでのパフォーマンス、最終成果物と朗読会の観点から評価を行います。内訳は以下のとおりです。

毎回の課題 50%

ディスカッションやワークショップでのパフォーマンス 30%

最終成果物と朗読会 20%

テキスト(教科書):

プリントを使います。

参考書:

授業の中でその都度紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

毎回課題が出ます。課題の提出は、keio.jpの授業支援のシステムを使って行いますので、使い方に慣れておいてください。最後の朗読会は授業時間外で行う予定ですが、詳しいことは最初の授業で説明いたします。精読は個人の作業ですが、授業ではグループレークが主体になります。また12月21日18時半からの朗読会に参加できることが履修の条件となります。

質問・相談:

授業に関する質問は、メールにてお送り下さい。アドレスは、chacky@keio.jpです。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

「英語」から「海」と「島」を考える[C][P]

春学期・秋学期：月1/月4

脇田 裕正

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、環境問題を英語を通して原理的に考えていくことを目標とします。現代の緊迫する国際情勢を気候変動を中心としながら考えていきます。

温暖化を始めとした地球規模での環境の激変により、従来では考えられないような世界の色々な地域の現状を英字新聞を通して学んでいきます。多様な地域で起こりつつある海面上昇のような危機的な状況を知ることで、結果的に、「日本」の現状についても冷静に、かつ理論的に考えることができるようになると思います。授業では、配布される資料を必ず読んできてください。適時指名して該当箇所を訳読してもらいます。

授業では英語の資料をゆっくりと丁寧に読んでいきます。基礎的な英語力がない人でも不安になることはありません。基本的な文法事項の確認から始めていきます。予習は必ずしてきてください。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点と小テスト(詳細は第1回目の授業で説明します。)

テキスト(教科書):

適時プリントを配布します。

参考書:

授業中に指示します。

担当教員から履修者へのコメント:

必ず該当箇所の予習をしてくること。明らかに予習をしていない場合は、成績評価は大幅な減点となります。